

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 令和7年度第1回サービス向上部会

開催日時 令和7年5月2日(金)13:00~14:00

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課、中野市社協指定訪問介護事業所、
飯山市社協ヘルパーステーションゆきつばき、山ノ内町社協指定訪問介護事業所、
木島平村社協指定訪問介護事業所、野沢温泉村社協指定訪問介護事業所、栄村社協指定訪問介護事業所、
北信圏域障害者生活支援センター、相談支援事業所たむろ、訪問介護たむろ、未来工房つむぎ、青りんご、
いこいの里、ケアホーム希望、のぞみの郷高社、NPO 法人ここから、常岩の里ながみね、傳習館、
一般社団法人きぼう、中野市障がい児者相談支援事業所ふたば、むぎとはな、
ながでんハートネット中野ポルカ、ながでんハートネットメゾふおるて、ひふみ中野たかおか教室、
ひふみ信州中野教室、ながでんハートネットカラー's 中野、北信圏域障害者生活支援センター、
児童発達支援センターみらいく、北信圏域障害者総合相談支援センター

会議で話し合われた事項

1. 開会

2. 議題

(1) 部会長・副部会長の承認

- 部会長および副部会長の体制について事務局より説明
- 持ち回りに基づき、以下の体制を承認
 - 部会長：黒田 祐美子 氏（ながでんハートネット メゾふおるて）
 - 副部会長：畔上 健司 氏（野沢温泉村社協 訪問介護事業所）

(2) 自立支援協議会 組織図の確認

- 事務局より協議会の全体構成、部会の位置づけ等について説明
- 特段の意見や修正提案なし

(3) 今年度の活動計画について

- 部会長より以下の計画案を説明
 - 他部会との連携
 - 支援力向上に向けた研修会の実施（冬前の実施を想定）
 - 各 WG・NW による実践的な情報共有と検討活動の継続

(4) 各 WG・NW での検討・報告

■ 居宅介護分野 WG

- 各事業所で作成されている個別支援計画を持ち寄り、内容や視点の共有を行った。
- 特に良い点や工夫がされている部分については参考として紹介され、有意義な場となった。
- 次回の方向性としては、個別支援計画を作成する際に重要となるアセスメントシートの圏域独自の書式作成に向けて検討を行うこととした。

飯山市社会福祉協議会においては、独自のアセスメントシートを活用しているとの情報提供があり、今後その内容を確認し、参考にしながら圏域独自の様式案を検討していく予定である。

また、個別支援計画と連動するサービス等利用計画の内容も考慮するため、相談支援専門員アセスメントシート（事務局準備）を当日の参考資料とすることとした。

■ 生活支援力向上 WG

- 今年度も学習会形式を継続。今後 3 回程度を予定。
- 現時点で挙がっているテーマ案：
 - ① 地域連携推進会議の内容整理
 - ② グループホームにおける虐待防止委員会について
 - ③ 家賃・利用料に関する金銭管理の工夫・対応方法
- 次回は①に関して学習会を実施予定。

北信保健福祉事務所 福祉課および生活介護事業所きぼうを講師に、福祉課からはパンフレット等の情報提供、きぼうからは介護保険的視点で行われている会議の様子・内容・メンバー等について紹介いただく予定。

■ 児童発達支援 NW

- 放課後等デイサービス事業所一覧表については、目的や内容の確認を行い、各事業所の特色紹介として法人の URL や QR コードを掲載する案が挙がる。主な利用想定は行政職員や委託相談員であり、次の会合で素案を確認し、完成を目指す。
- 療育 Co より、県の療育部会の活動に関する協力依頼があった。今後、放課後等デイサービスの運用状況について調査をお願いする可能性があり、その際は各事業所に協力をお願いしたい旨が伝えられた。あわせて、長野県療育部会へ提案可能な地域課題等があれば共有いただきたいとの依頼もあった。
- 保育所等訪問支援の実情についても、地域における運用状況について今後共有の必要性について触れられた。

(5) その他

3. 閉会